

新基本構想・基本計画策定「市民会議」第9回リーダー会議兼第4回起草委員会議事録

日時：平成23年10月9日（日）13時30分～16時19分

場所：大横保健福祉センター 3階会議室

参加者：岡崎、篠原、岡田、中瀬、新倉、土肥、榎本（代理）、野牧、小西（代理）、倉田

欠席者：加藤、野崎、関谷、八木

傍聴者：なし

事務局：小島、伊藤、内田、設樂、和智、中山、羽生

配付資料： 野牧リーダー取りまとめ文案及び各分科会事前提出文案

施策提言シート No80 検討案

参考資料1 第2回全体会議次第及び報告会次第（案）

参考資料2 新基本構想・基本計画策定「市民会議」第8回リーダー会議兼第3回起草委員会議事録修正案

参考資料3 【総論】まちづくりの基本理念部分提出資料一覧表

1. 開会・資料確認

- ・ 事務局から、今回は「起草委員会」で予定していたが、議事の関係でリーダー会議を兼ねて開催する旨の報告があり確認した。

2. 第8回リーダー会議兼第3回起草委員会決定事項等の確認

- ・ 事務局から、第8回リーダー会議兼第3回起草委員会の決定事項等を報告し確認した。

（リーダー会議）

3. 都市像の呼称の決定について

- ・ 各分科会から検討結果の報告があり、3分科会が望ましいとした「私たちが目指すまち」を仮決定することとした。ただし、他に「目指（めざ）す都市像」、現状どおり「都市像」も候補として残し、総論が固まった時点で最終決定することを確認した。

4. 名簿掲載の取り決めについて

- ・ 各分科会から対応についての報告等があり、184名全員を50音順に掲載するという事務局案で決定した。ただし、辞退者については掲載の意思を確認した方が良いとの意見が出されたことから、事務局で辞退者に意思確認を行うことを確認した。

5. 市民会議の代表について

- ・ 事務局から、以下の点について説明及び依頼があった。

市民会議の代表は全体会議を待たず決定した方が良いとの意見を受け、代表決定時期を早めたい点。

市民会議の代表、副代表は会則上全体会議で決定することになっているが、そのことだけで全

体会議を開催することは現実的ではない点。

代表については、今までの経過も踏まえリーダー会議の中から選ぶことが妥当ではないかと考える点。

については、リーダー会議において決定することで良いか分科会から承諾を得てもらいたい点。

- ・ また、事務局から、第2回全体会議及び報告会次第（案）に基づき、市民会議の代表、起草委員会の代表の役割について、説明があった。
- ・ 以上の説明及び依頼を受け、各分科会において市民会議の代表をリーダー会議において決定するとの承諾を得て、10月30日に決定すること、また、起草委員会の代表についても10月30日に決定することを確認した。

6. 施策提言シート No80 について

- ・ みんなで担う公共と協働分科会の岡崎リーダーから、この施策提言シートの確定方法として、今までのまま最終的な決定は分科会とすることで良いのか、それとも、最終的にリーダー会議が決定するのか、位置づけを明確にしたい旨の課題提起があった。
- ・ このことについて、以下の点について議論がなされた。
 - 「新基本構想・基本計画のフォローアップ」という内容を施策提言シートとして掲載していくべきかという点。
 - 施策提言シートとして掲載する場合、分科会に位置づけるのか、分科会とは別に全体として位置づけるのかという点。
 - 内容を、市の施策として位置付けるのか、市民会議が独自に取り組むのかという点
 - 市民委員会やパブコメ、行政評価などの現行制度との関係、あるいは議会との関係をどのように考えるかという点。
 - 施策提言シートで考えているフォローアップの対象を、基本計画のレベルで見ると、個々の事業のレベルで見るとかという点。
 - 市民会議委員を担い手とすると、市民会議全員への確認が必要になるのではないかという点。
- ・ 以上の議論については、今後継続して行っていくが、リーダー会議で出された意見を参考とし、みんなで担う公共と協働分科会において最終的に決定するという位置づけとすることを確認した。なお、リーダー会議には随時報告を行っていくことも確認した。
- ・ 前回の議事録について、修正依頼があったことから、参考資料2のとおり議事録は修正することを確認した。

（起草委員会）

7. 【総論】の文案の検討

- ・ 事務局から、本日の到達目標として以下の説明があった。
 - 「1. まちづくりの基本理念」の文案を概ね固める。
 - そのうち「」の部分は十分な議論をして決定
 - 「3. 重視したこと」の項目の検討
- ・ また、事務局から、理念とは、「こうあるべきだとする根本的な考え」であることから、末尾が「まち」でよいのか、「目指す」など動詞であるべきではないかという点も併せて議論してほしい旨の依頼があった。

- ・ 司会を岡崎リーダーとし、取りまとめ文案を作成した野牧リーダーからの説明をもとに、議論を行った。

< 1 . まちづくりの基本理念 >

- ・ このことについて、以下の点について議論がなされた。
 - 基本理念を変える意義
 - 基本理念の説明部分に「自然」というキーワードがある点
 - 取りまとめ文案にある「夢」と説明部分との関係性
 - 「共生」という言葉の持つ意味合い
- ・ 以上の議論を受け、文案については概ね取りまとめ文案どおりとし、「 」の基本理念については、キーワードとして「絆」「人」「つながり」「自然」「幸せ」を使い、各自検討すること。また、「 」の基本理念の末尾についても併せて検討してくることを確認した。

< 2 . (仮) 目指すまちの姿 >

- ・ このことについて、以下の点について議論がなされた。
 - 冒頭に、説明文を入れる点
 - 「新しい公共」というキーワードを入れることが適切かという点
 - 各分科会の検討してきた分野を入れた方が、市民に分かりやすいのではないかという点
- ・ 事務局から、文末の表現としてはもう少し言い切った方が良いのではないか。また、6つの都市像の設定は、「さまざまな側面からまちづくりのイメージを共有するため」ではなく、「基本理念を実現するため」に具体的なまちの姿として設定したものではないかとの課題提起がされた。
- ・ 以上の議論等を受け、説明文案が必要か否か、また必要とする場合は、その文案を各自検討すること。また、各々が所属している分科会の「まちの姿」について、簡略な分野の説明を検討することを確認した。

< 3 . 検討にあたり重視したこと >

- ・ このことについて、以下の点について議論がなされた。
 - 取りまとめ文案の「3つの重視したこと」で、項目、内容が十分かどうかという点
 - 八王子市としての課題という視点を盛り込むべきかという点
 - 次回の検討方法
- ・ 事務局から、以下の点について課題提起がされた。
 - 幸福度ナンバーワンのまちを目指して
 - 本当の幸せとは何かということが明確になる記述が望ましいのではないか。例えば、感謝すること、されることで大きな幸せを実感できたという意見があったことから、「みんなが感謝の気持ちを持てる社会」という社会像が導かれたという議論もあった。
 - 新たな協働に向けて
 - 共生 協働 協創になることが全体の共通認識であるのか。生活・共助分科会からの「もっと基本的な問題を直視し、地に足の着いたものとすべきかと考える。」という指摘をどのように捉えていくか。
 - 持続可能な循環型社会の創造
 - 環境の概念の記載が薄いように感じる。

内容が複雑になっていることから、産業分科会の網掛け部分の「量から質へ」といった表現などの方が分かりやすいように感じる。

環境に配慮した産業振興の考え方や、環境保全に対する考え方がこの項目になってくるのではないか。

難しいとは思いますが、幸せにつながる経済成長の捉えをどう考えたかなどを記載する項目になるのではないか。

- ・ 以上の議論等を受け、野牧リーダー取りまとめ文案をベースに内容が網羅されているのか。盛り込まれていないのであれば、項目を変えることで盛り込めるのか等を判断してもらうため、各自直しを入れることを確認した。

<その他>

- ・ 野牧リーダーから、取りまとめ文案をA案、B案を作成したので、どちらが良いか検討してほしい旨の依頼を受け、併せて検討することを確認した。
- ・ 今回出された宿題については、10月13日（木）までに事務局に提出することを確認した。

8. 「あとがき」の構成及び作成担当者の決定

- ・ 「あとがき」は、まずは各分科会の文章、施策提言シート No80 のフォローアップに関する文章を作成し、その冒頭部分は、各分科会の文章が提出されてから内容・作成担当者を決定することを確認した。

9. その他

- ・ 事務局から、現状から考え、総論の検討期間を多く取った方が良いと考えるため、スケジュールの延長・追加を下記のとおり行いたい旨の提案がなされ確認した。
 - 10月16日 10時 9時に変更
 - 10月23日 15:30～ 追加。この回は市役所の会議室にて開催。
 - 10月30日 10時 9時に変更
 - 11月13日 10時 9時に変更
- ・ 上記決定を受けて、事務局から、下記の報告がなされ確認した。
 - 起草委員会の総論等文案の確定日は10月30日厳守とするため、この場合は、分科会の総論等の確認期間を10月22日～29日から11月5日～12日へとすることになる点
 - 11月13日に分科会からの意見等により修正し、最終案を確定する点
 - 11月中旬から下旬に分科会にて最終案を確認してもらう点
- ・ 次回の司会は、環境分科会の岡田サブリーダーとすることを確認した。

以上